



保護者の皆さまへ

鹿大だより

第5号

◎編集・発行／国立大学法人 鹿児島大学広報センター 〒890-8580 鹿児島市郡元1丁目21番24号 TEL099-285-7035 FAX099-285-3854



「進取の気風」あふれる総合大学をめざして 脈々と引き継がれてきた「進取の精神」を継承する教育を次世代に。



吉田学長に聞く。
二期目を迎えた吉田学長に今後鹿児島大学がめざす教育や社会貢献のあり方についてお聞きしました。

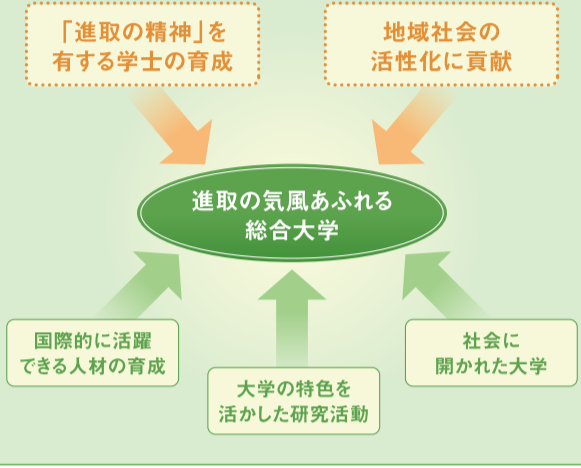
どのような大学をめざすのでしょうか。

人間を育む土壌を培ってききました。

鹿児島大学の源は、一七七三(安永二年)に創設された藩学造士館や一七七四(安永三年)に創設された医学院まで、二二六六年にも亘る歴史を遡ります。明治に入り、その学風を受け継いだ鹿児島第七高等学校造士館をはじめとして、鹿児島高等教育は、幾多の変遷を重ねながら、若者がお互いに切磋琢磨しながら勉学に励み、進取の気風に富む

◎大学の基本的な目標

我が国の変革と近代化の過程で活躍した先人の意志を引き継ぎ、自ら困難な課題に果敢に挑戦する「進取の精神」を有する人材を育成し、地域とともに社会の発展に貢献する知の拠点として『進取の気風にあふれる総合大学』をめざす。



「進取の精神」を有する学生の育成に向け教育改革をどのように進めていかれますか。

第二期の教育目標では、幅広い教養の厚みに裏打ちされた倫理観と生涯学習力を備え、「進取の精神」を持った学生の育成を掲げています。

教養、専門知識や技能については、講義、演習や実習等で修得できます。ただ人間性に裏打ちされた倫理性、物事を冷静に判断できる総合的な判断力、問題解決のための創造的思考力、コミュニケーション能力、さらには自らの目標に突き進む行動力といったことは座学だけでは身につくものではありません。学外における体験教育の充実など様々な教育方法の改善が必要です。

そのために22年度には、まず共通教育において人間力養成の教育プログラムの開発に向けて全学的に検討します。さらに入学から卒業まで一貫して「進取の精神」を養うために専門教育のカリキュラムの改革も行います。そのほか既に20年度に設置したボランティア支援センターを中心に学生のボランティア活動も積極的に側面支援を図ります。

また、学生が大学生活を有意義に送るうえで目標を定めるために、できるだけ多くの学生に参加してもらう「学生憲章」を策定したいと考えています。

鹿児島に根ざす大学としての社会貢献や大学の国際化についてどうお考えですか。

鹿児島大学は8学部10研究科を有する総合大学であり、豊かな自然に恵まれた鹿児島島の地にあります。その利点を最大限に活かし、横断的、普遍的、国際的な課題をテーマとした教育コースを大学院に設けます。

学位取得のための教育コースとは別に「島嶼」「環境」「食と健康」などをテーマにしたコースで、専門性を備えつつ総合力を持った鹿児島を支える人材を育成したいと思っています。

また、これまで研究成果を様々な形で社会に還元するとともに、多くの人材を社会に輩出することで、役割を果たしてきました。法人化以降は自治体や企業等と連携協定を締結(一覽参照)して、様々な課題解決に積極的に取り組んでいます。今後大学の知的財産を活用して、地域社会のご要望に積極的に応えていきたいと考えています。

さらに日本の南の玄関口

◎連携協定一覧(平成22年3月現在)

- | 《地方自治体》 | 《企業等》 |
|---------|------------------|
| ●与論町 | ●社団法人 鹿児島県工業倶楽部 |
| ●奄美市 | ●鹿児島県酒造組合 |
| ●徳之島町 | ●日本政策投資銀行 |
| ●鹿児島市 | ●株式会社 鹿児島銀行 |
| ●垂水市 | ●社団法人 鹿児島青年会議所 |
| ●出水市 | ●財団法人 横浜企業経営支援財団 |
| ●伊仙町 | ●林野庁 九州森林管理局 |

農学部開学100周年記念式典および関連事業を実施

COLUMN



記念式典



収藏品・埋藏品展示

農学部では、11月23日、前身の鹿児島高等農林学校の開校から今年で100年を迎えるにあたって、開学100周年記念式典を挙行了しました。式典には、吉田浩己学長をはじめ農学部関係教職員や農学部あらた同窓会関係者ら約600名が出席。また記念事業の一環として、公開授業や記念講演会のほか、農産物等の販売、「農学部ツアー」、高等農林学校時代の収藏品・出土品などの展示も行われました。

大学創立60周年記念式典・記念シンポジウムを挙

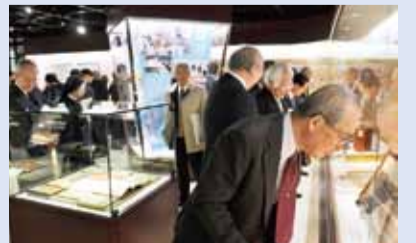
COLUMN

～大学の源流から現在までの歴史を紹介する展示室もオープン～

鹿児島大学では、11月24日、教職員をはじめ、伊藤祐一郎鹿児島県知事ら約250名が出席し、創立60周年記念式典を挙行了しました。式典では、はじめに吉田浩己学長が挨拶の中で、新制大学発足からの歩みや将来像等について述べた後、来賓から祝辞がありました。引き続き、記念シンポジウム「アジアの食と健康」が開催され、小泉武夫東京農業大学名誉教授の基調講演のほか、鮫島吉廣農学部教授および嶽崎俊郎医歯学総合研究科教授から研究事例報告が行われました。また、記念事業の一環として中央図書館に大学の源流である藩学「造士館」から現在までの236年の歴史を紹介する「鹿児島大学歴史展示室」が設置されました。



記念式典



歴史展示室内を見学する関係者

学習支援体制 ～自学自習を推進～

SUPPORTS FOR STUDY

e-ラーニングソフトを活用した自学自習促進の取り組みや情報科学教育について紹介します。

● Moodle (ムードル)

授業への主体的参加を促すe-ラーニング活用による学習支援

ムードルは、授業内容の再確認、小テスト、レポート提出、教員への質問、教員からのコメントの取得など学生と教員間の双方向の連絡をサポートするための学習環境を提供するe-ラーニングソフトです。このほか授業アンケートや学生同士の討論や意見交換の場としても利用されています。本学の特徴は携帯電話でも利用できる点で、授業中に携帯電話を使ったアンケートなども行われています。

学習環境の充実 ～自習スペースの確保～

COLUMN



共通教育棟2号館 学生交流スペース



理学部2号館 リフレッシュスペース



中央図書館 グループ学習室

キャンパス内の施設整備の充実の一環として学生の学習環境の整備充実が行われています。最近の法文・理・農学部棟や共通教育棟の改修等に併い、学生交流室やセミナー室などのスペースを新たに配置。自習やグループ学習などに活用されています。また中央図書館では、個室12室のほか、3月には少人数の学生同士でディベートやプレゼンテーションを行うグループ学習室が新たに12室設置されました。



ムードルの画面(授業中間アンケート)



携帯電話によるムードル活用(「鹿児島探訪」)

◎ 双方向型学習支援ツールとして活用

基礎教育科目「物理学基礎A」の一部や「力学基礎II」では、力学の基礎知識をもとに自ら物理法則を適用して自ら考えさせるためのツールとして活用しています。教員が毎回授業後に補足説明メモ、練習問題や関連資料を掲載し、学生は自己学習活動の報告や質問等を提出します。教員は学生の毎回提出される報告や質問を通じて学生の理解度を把握するとともに、個々の理解度に応じた指導助言するなどきめの細かい学習支援を行っています。

◎ 英語の弱点把握を可能に

共通教育の英語のうち、G-TLEP(国際英語検定試験)の成績を評価項目にしている科目(受講学生約2300名)でムードルを活用した模擬試験を実施しています。学生は各期の一定期間中に何回でも受験可能です。その結果は文法、リスニング、読解・語彙の3部門ごとに出され、学生の弱点把握や学習成果の確認を可能にするほか、今後の学習指導改善にも役立つことが期待されています。

21年度のムードル活用実績
共通教育 102科目
専門教育 56科目
学生利用者数 約2300名

● 情報活用基礎

課題発表やレポート作成に必要なスキルを学ぶ

共通教育では、授業、レポート作成、課題発表、卒業研究等において必須である学習のツールとしてのパソコンとインターネットの活用方法を学ぶ情報科学科目「情報活用基礎」が開講されています。ほとんどの学部で実質上の必修科目となっており、毎年約1800人の学生が受講し、約80人の教員が担当。また授業補助員

として大学院生が学生20人に一人の割合で従事するなどきめの細かい指導を行っています。

主な授業内容は、ワープロ、表計算やプレゼンテーションに係るソフトの使用、方法、メールやウェブなどのインターネットの安全な活用法のほか、図書館利用や資料検索法を学ぶものです。またグループ研究と発表形式の授業の重要性が増す中



プレゼンテーションの様子

学生生活における心身のケア体制 ～保健管理センターの役割～

保健管理センターには、専任医師3名、看護師1名、保健師1名がおり、学生の心身の健康の保持増進を図っています。

◎ 定期健康診断

全学生を対象に毎年4月に実施。この結果に基づき注意を要する学生には精密検査や生活上の助言指導を行っています。受診者には、実験・実習や国家試験、スポーツ大会等に備えての特別健康診断の実施、就職や奨学金用などの健康診断証明書を発行しています。

◎ 一般診療・心理相談等

診療料、簡易血液検査及び薬代は無料です。昨年度かぜ、インフルエンザ、外傷、胃痛等で、のべ約7000人の学生が利用しました。

また心に悩みを抱える学生も増加傾向で、年間約

一部の情報活用基礎ではプレゼンテーション能力を成績評価項目のひとつとするなど強化を図っています。



京都大学大学院理学研究科博士課程修了。博士(理学)。2001年4月就任。

◎ 先生インタビュー

TEACHER'S INTERVIEW

大学生活は深い専門知識を学べる貴重な時間
大学院医歯学総合研究科 歯科機能形態学講師 山中淳之

専門分野は、口腔領域の解剖学・発生学です。主に、歯がどのようなメカニズムで形成されるのかを、遺伝子レベルで研究しています。前歯(切歯)と奥歯(臼歯)はどのように分化するのか、なぜ乳歯が永久歯に生えかわるのか、といった歯の発生に関する未解明の問題を調べています。歯学部では2年次から専門科目がスタートしますが、その最初の科目である解剖学・組織学の講義と実習を担当しています。歯学部生は、歯や口に関してさらに詳しく学ぶ必要がありますので、引き続き口腔解剖

最近の学生は優等生タイプが多く、真面目である反面、試験対策型の勉強しかやらない傾向があると思います。専門学校とは違って、大学は最高の知識と教養を身につける場でもあるのです。

必要以上に大量の情報が氾濫する現代社会では、深い専門知識を身につけた者だけが、その分野の本質的な情報に辿り着けると思います。大学生の皆さんは、そうした深い知識を学ぶことができる貴重な時間を過ごしている、ということをもっと強く認識して欲しいと思います。

ワクチン開発で魚類の感染症を防ぐ

水産学部水産学科助教 荒木亨介



東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了。日本大学生物資源科学部獣医学科研究員を経て2007年4月就任。

専門は魚類免疫学。研究テーマは魚類の感染症に対するワクチンの開発です。ブリの養殖日本一という鹿児島県の特産品を活かして指宿の水産技術開発センターと共同研究を行い、ブリの免疫機構について調べています。現在、養殖場で問題となっている疾病のほとんどが寄生虫(ウイルス・細胞内寄生細菌)によるものです。病気に感じにくいのが特徴で、感染の初期段階で免疫システムは異なります。それを明らかにすることで、どのような免疫システムを増強するワクチンを作ればよいかかわり

ます。昨年の5月にはフィリピンで行われた国際学会でも研究成果を発表しました。教育では、毎年夏に2年生を対象に長島町の水産学部附属海洋資源環境教育研究センター「東町ステーション」で5泊6日の「海づくり実習」を行っています。持続的な養殖生産と環境保全等について能動的に思考し研究する動機付けすることが目的です。水質や底質の沿岸環境調査や養殖ブリの健康診断の実習のほか、養殖関連施設を見学するなど現場体験学習を行うことで集団生活での協調性、自主性や思考力を高めることができます。水産学部についても就職先は多様です。英語も重要。学生時代には海外で見聞を広げるなどいろいろな経験を積んで欲しいです。

《連絡先》
電話 / 099-28557385
FAX / 099-28557384
E-mail / token@kuas.kagoshima-u.ac.jp

「就職相談員に聞く」 CAREER COUNSELOR'S INTERVIEW 自分の特性を把握して、積極果敢に攻めて欲しい。



もりやまみちたけ 森山道壯 就職相談員

鹿児島大学文学部卒(昭和38年) 日本興業銀行(現みずほ銀行)元取締役(ハウステンボス)元取締役社長 就職相談員(2009年5月就任)

最近の就職や求人状況

リーマンショック以降の世界的経済不況下で雇用情勢の好転は見込めない状況です。企業側も激変する経営環境の中で、新規採用を抑制する一方、団塊の世代の退職を受け、変革が求められる時代にあつて企業活動を支える有為な人材を必死に求めています。

企業が求める人材

教養や専門知識、技能といった「知力」とともにコミュニケーション能力、主体的に行動する実行力、変化に柔軟に対応できる判断力や忍耐力すなわち「人間力」を有する人材です。とりわけ大卒に求められるのは、強い当事者意識(責任感)と相手を思いやる心を持ったリーダーとなる資質です。

就職活動に対する心構えとは

まず就職活動は入学と同時にスタートすることを自覚することです。学生生活では、社会人として自立していくためにも「自分を磨く」という強い意識を持って、授業等を通して「知力」を修得することはもとより、サークル、アルバイトやボランティア活動等に積極的に取り組み、様々な人との交流を図りながら「人間力」を培って欲しい。同時に自分なりの就職活動計画を立てた上で、早いうちから企業研究、大学が企画する各種ガイダンスへの参加を通じて職業意識を醸成することが求められます。3年次の6月ごろ配付される就職支援ガイドブックを最大限有効利用してください。

これから就職活動に臨む学生へのメッセージを

就職した企業からの鹿大生に対する評価は「まじめ」「謙虚で粘り強く信念を貫く」など総じて高い。ただ相談を受けて感じるのは、すばらしい個性や能力を持っているにもかかわらず、自己分析がうまくできず、志望する企業を探せない学生が多いことです。厳しい就職活動を戦い抜くには、自分の特性を的確に把握し、どの企業が向いているのか、その企業が求める人材のポイントを押さえることが先

決。自分の「就職活動ノート」を作成し、エントリーシート(ES)の提出や企業セミナー・OB訪問等を積極果敢に行うことが必要です。そして失敗も次のチャレンジの糧とするしたたかさときらめけない忍耐力が何より大切です。

就職支援センターでは、情報提供、各種相談、ESの添削等のきめの細かい支援を行っています。私も経験を活かして企業の経営者や人事担当者側から求める人材像について助言することも、学生それぞれの個性に気づかせ、そして自信をもつて就職活動に臨めるようにできるだけの側面支援をしています。厳しい時代であるだけに、ご家族の方にも是非メンタル面のケアを含めた支援をお願いします。

就職支援センターのホームページ

就職支援センターのホームページでは、就職ガイダンス、企業セミナー等の支援プログラムの閲覧、他、求人情報や詳細な進路データの確認もできます。



http://shushoku.kuas.kagoshima-u.ac.jp

鹿児島大学の連絡先一覧

Table with 4 columns: 学部等, 担当係名, 主な問合せ内容, 電話番号(直通). Lists various departments and their contact information.

平成22年度 就職支援プログラム(予定)

- 1~2年生対象: 4月~7月 教養科目前期「キャリアデザイン」スタート
3年生(修士1年生)対象: 5月~翌年4月 公務員・教員採用試験対策講座開設
4年生(修士2年生)対象: 4月~翌年3月 学内個別企業説明会(随時): 3年生も対象

学生何でも相談室



学生生活におけるあらゆる悩みや迷いに対する相談窓口。心やからだに関する相談についても保健管理センターと連携しながら対応します。

《手紙での相談》 〒890-8580 鹿児島市郡元1丁目21-30 鹿児島大学学生部学生生活課 「学生何でも相談室」宛て 《メールでの相談》 soudan@kuas.kagoshima-u.ac.jp 《電話での相談》 099-285-7311 (FAX兼用)

陸上競技部

全国レベルの大会でも大活躍

大学創立時に創部した陸上競技部。週6日、教育学部グラウンドや鴨池陸上競技場で短距離・長距離・フィールドの3種目に分かれ部員一人ひとりが高い目標と意識を持って、監督、コーチの支えや部員同士の励ましもあり充実した練習を行っています。

部員数は男子44名、女子9名と女子が少ないですが、昨年は男女ともに全日本インカレで入賞するなど大健闘。九州学生陸上競技対抗選手権大会では男子総合5位、女子総合4位など結果も出ています。目標とする総合3位まであと少し。「昨年からグラウンドが改修されより良い環境で練習を行うことが出来るので、今年はさらに素晴らしい成績を残したい」と主将の永野亮太さん(教育学部4年)。

個人種目なので各自がどの大会でも自己記録を更新することが目標。また、毎年、県一周駅伝や全日本レベルの大会に出場するなど各県や地区の代表としても活躍していますので応援よろしくお願いします。



http://www4.synapse.ne.jp/kadairikubu/

Clubs

サークル紹介

裏千家茶道部 石笑会

日本の伝統文化を継承

部員は男子2名、女子11名の13名。茶道という堅苦しいというイメージがあるかもしれませんが、月曜と土曜の週2回、おいしい抹茶とお菓子を食べて楽しく活動しています。創部は昭和40年と歴史は長く、少ない人数ながらOBが度々顔を出すこともありいつもにぎやかです。毎年開催される6月の創立記念茶会や11月の大学祭で、一般の方にも楽しんでいただけるよう定期的に茶会を開いています。「毎回の茶会で、来ていただいた方々に満足していただけるように、日々頑張ってお手前の練習をしています」と主将の川路奈緒美さん(教育学部3年)。先生が月3回程しか来られないので普段は学生同士で教え合い、切磋琢磨しながら稽古しています。男女問わず初心者

でも楽しめるのも醍醐味。夏休みにお茶碗作りをしたり、お茶会で着物を着たりといった体験もできます。日本の伝統文化に触れながら、美しい仕草や立ち振る舞いなど細かな作法を身につけられるのも茶道ならではの魅力です。



鹿大の 主な出来事

平成21年10月
～22年3月

EVENTS IN KAGOSHIMA UNIVERSITY



第49回大学祭を開催

11月13日、恒例のみこしパレードを皮切りに第49回鹿大祭が開催されました。パレードでは附属図書館前門から先導役のジャズバンド部を先頭に84基のみこしが次々と出発。マンガのキャラクターやサークルの特色を生かしたみこしや嗜好を凝らしたコスチュームで市街地をねり歩きました。

14日～16日には、模擬店や展示企画等のほか、学部・大学院企画の体験授業・実験や講演、各種相談などが行われ、多数の市民の方にご来場いただきました。

●学生が洋菓子店と連携し エコスイーツを開発 販売

学生と教員が協力して環境活動を進めているプロジェクト「鹿児島大学 Sustainable Campus

●発酵・醸造関連技術の高度化・新製品開発及び人材育成拠点が鹿大に整備

鹿児島大学、鹿児島県及び鹿児島県工業倶楽部が共同提案した「鹿児島イノベーションセンター(仮称)」の構想が独立行政法人科学技術振興機構「地域産学官研究拠点整備事業」に採択されました。焼酎を中心とした発酵・醸造分野における安全性や機能性に優れた製品の開発、地域産業の育成やビジネスの創出を図ることとしています。



表彰式の様子

●教育センター長賞を授与

教育センターでは、11月6日、共通教育における成績優秀者に教育センター長賞が授与され、表彰式が行われました。この賞は共通教育科目等の通算グレード・ポイント・アベレージ(GPA)の値が3.7以上の学生を表彰しているもので、今回は、平成20年度の入学生13人が表彰されました。



学生の質問に答える森市長

●法文学部で市長と「ふれあいトーク」を開催

12月15日、法文学部では、「キャリア科目」の時間を活用し「市長とふれあいトーク」を実施しました。これは、鹿児島市が主催する企画で、森 博幸鹿児島市長が地域に出向き、市民と気軽に語り合うもの。学生から錦江湾の環境保全と有効活用、新幹線全線開業を見据えた観光戦略など多岐に関する質問や要望が出され、森市長が市政の説明を交えながら丁寧に答えていました。



連日大盛況で完売しました

●教育学部生がツリーハウスを完成

教育学部技術専修の学生が卒業研究の一環として「木育」を概念にツリーハウスを製作し、12月21日、完成を記念して教育学部附属幼稚園児を招待しました。ツリーハウスは高さ3.6m、広さ4.5畳で大人8人まで収容可能。6月末まで公開されます。

●JUNBA2010に出席

サンフランシスコで大学の今後の国際化のあり方を議論

鹿児島大学を含む米国に拠点を置く大学で構成される「JUNBA2010」が1月11日・12日、サンフランシスコで開催され、吉田浩己学長も出席しました。サ

●出水市と包括連携協定を締結

鹿児島大学と出水市は、12月21日、包括連携協定を締結しました。同市とはこれまで個々の教員が高病理性鳥インフルエンザ対策、ツル食害対策事業や橋りょう長寿命化修繕計画策定等で協力してきました。今後は、本協定に基づき、より幅広い分野で包括的に連携協力を行うべく予定で



完成したツリーハウス

●学生ボランティア団体交流会を実施

1月20日、ボランティア団体交流会が開催され、9つの学生ボランティア団体の学生や教職員など約100名が参加しました。この交流会は、企画から実施まで学生ボランティア団体が行っているもので、各団体から活動紹介や活動における問題点及び今後の展望について発表があったほか、意見交換会や懇親会も行われました。

●「人間力」育成の教育プログラム構築に向け 学生・教職員が討論

鹿児島大学では、2月16日、学生・教職員ワークショップを開催しました。体験型授業やボランティア活動に従事した学生・教職員36名が今後の活動における改善点や要望などについてグループごとに討論し、プレゼンテーションを行いました。

●学長表彰を授与

鹿児島大学では、天皇賜杯第78回日本学生陸上競技対抗選手権大会で入賞した陸上競技部の工学部3年原田英世さん(男子800m 8位)と教育学部研究科2年中村恵理さん(女子2000m 8位)に、1月18日、吉田浩己学長から表彰状が授与されました。また、第41回全日本歯科学学生総合体育大会バレーボール部門男子の部で第1位の成績を収めた歯学部男子バレーボール部にも3月2日、学長表彰が授与されました。



活動の普及をめざします

●学長と学部卒業予定者との懇談会を開催

3月11日、学長と各学部の卒業予定者16名との懇談会が開催されました。懇談会では、学生生活についての感想のほか、大学で学んだこと、大学の一層の活性化に対する提言等について意見が交わされました。鹿児島大学では、要望等を今後の大学運営に活かしていく予定です。

平成21年度学生表彰 COLUMN

●鹿児島大学稲盛賞

(学業に専念し成績優秀で品行方正な最終年次の学生、社会の期待にこたえるような業績を挙げた学生、その他同等以上の表彰に値する行為等があったと認められる学部学生及び大学院学生を表彰するものです。)

- ・法文学部/田口優子、榎木田麻紗巳
- ・教育学部/瀬上郁美、森健太郎
- ・理学部/平峰祐一、益田真都香
- ・医学部/時任利奈、中園はるか
- ・歯学部/岩脇有軌
- ・工学部/桐原裕紀、HONG JIN WUK
- ・農学部/神菌信人、千貫友莉
- ・水産学部/近藤史典、今井麻衣
- ・連合農学研究科/石川大太郎

●鹿児島大学工業倶楽部賞

(鹿児島県地域産業の発展に貢献する優秀な研究業績等を挙げた、大学院研究科に在学する最終年次の学生を表彰するものです。)

- ・理工学研究科/吉田浩司
- ・農学研究科/大重絢香

●合同企業セミナー!

鹿児島大学では、郡元キャンパスにおいて、12月5日、県内外企業等82社によるブース形式の学内合同企業セミナーを開催し、約900名が参加しました。

また、3月2日には、九州地区への就職を希望する学生を対象に企業等35社による学内合同企業説明会・就職相談会を開催し、約



懇談会の様子

◎平成22年度学事日程

(共通教育の例)

4月7日	入学式
4月12日～7月23日	前期授業
4月12日～30日	定期健康診断
7月26日～30日	前期末試験
8月1日～9月30日	夏季休業
9月8日	成績発表
9月14日～16日	後期履修申請期間
10月1日～1月27日	後期授業
11月11日～15日(予定)	大学祭
12月28日～1月3日	冬季休業
1月28日～2月3日	後期末試験
2月18日	成績発表
3月15日～17日	23年度前期履修申請
3月25日	卒業式

KAGOSHIMA UNIVERSITY ANNUAL SCHEDULE 2010-11

MORE INFORMATION

最新の情報は鹿児島大学ホームページをご覧ください。「インフォメーション」・「トピックス」など、常時更新しております。また広報誌「鹿大ジャーナル」もHP内で閲覧できます。

鹿児島大学広報誌『鹿大ジャーナル』
鹿児島大学のホームページ
<http://www.kagoshima-u.ac.jp>